



市長レポート No.277

18年度予算

今年度の予算編成は、実に厳しいものとなりました。国の三位一体改革により、市の歳入の大きな割合を占める地方交付税が大幅に削減されたためです。一般会計当初予算総額は291億2,259万円で、合併後の予算と比較すると13億5,366万円、率にして4.4%もの減額となっています。仮定のお話で恐縮ですが、合併してさえこの減額なのですから、万一、合併していなかったならばもっと大変な事態になっていたのではないかと思います。う余曲折はあれ、合併出来て良かったと思います。

そんな厳しい状況の中でも、皆さんの生活に直結する福祉の充実や少子化対策などの民生費では前年比4.0%の伸びになっていて、市民サービスの向上に努めています。また、携帯電話不通地域解消のための移動通信用鉄塔施設整備事業や高速インターネットアクセス網整備促進事業などの情報通信網の整備、小・中学校の改修工事や花岡保育所の改築など、投資的経費の確保にも努力しました。

一方、皆さんからのアンケートでも重要度のトップであった雇用の対策は、二井田工業団地内のニプロ(株)大館工場でライン増設のため、県営大館工業団地が拡張されることとなり、市でも、最大限のバックアップ体制でこれに臨みたいと考えています。また、二井田・真中地区には、地域の皆さん待望のデイサービスセンターがオープンします。東バイパスの長木川架橋の上部工も18年度中には完成し、いよいよその全貌が見えます。

このように、私たちの生活に必要なものはしっかり確保し、やるべきものはきちんと措置しました。出来る限りの合理化を進めて、歳出の削減を図り、合併の効果を早く出したいと考えていますが、すぐには効果が現れません。今後、19年度の予算編成に向けて、今から相当の行財政改革を検討し、行財政のスリム化を目指していきます。この行財政のスリム化を実現するためには、市民の皆さんのご理解とご協力も不可欠です。

これからも、行政サービスの維持・向上を目指し、全力を尽くします。

小畑 元

合併して予算は

どうなったの？

下の表は18年度当初予算と合併後予算の比較です。18年度当初予算は合併後予算に比べて、13億5千万円減少しています。増減が大きいものでは、土木費が39.1%の減少です。これは樹海公園・高館公園の整備が終了したのが主な理由です。19%減少した農林水産業費では、農業基盤の整備や、農道・林道などの、いくつかの事業が終了したことが理由です。労働費では、17年度に矢立ハイツを購入したことや、サンク

レア大館に指定管理者制度(利用料金制)を適用したことで委託料がなくなるため、13.7%減となっています。商工費では、17年に正札竹村と二井田工業団地の公園部分を購入していますが、湯夢湯夢の湯とハチ公荘に利用料金制の指定管理者制度を適用したため、12.4%の減少です。教育費では、17年度に味噌内分館の建て替えや、花矢図書館開館のためのJAあきた北花岡営業支店跡地取得、樹海アリーナの備品を購入したことなどが減少の理由です。総務費の10%増は、地域振興基金への積み立てのためです。

一般会計歳出予算の比較

	18年度当初予算	合併後予算	増減
議会費	4億4,158万円	4億4,543万円	△0.9%
総務費	37億6,970万円	34億2,593万円	10.0%
民生費	84億7,914万円	81億5,300万円	4.0%
衛生費	30億3,544万円	30億1,696万円	0.6%
労働費	7,332万円	8,495万円	△13.7%
農林水産業費	8億2,535万円	10億1,941万円	△19.0%
商工費	9億8,680万円	11億2,615万円	△12.4%
土木費	19億3,294万円	31億7,458万円	△39.1%
消防費	13億1,432万円	12億8,180万円	2.5%
教育費	29億7,408万円	32億4,351万円	△8.3%
災害復旧費	1,500万円	1,227万円	22.2%
公債費	41億5,215万円	42億7,491万円	△2.9%
諸支出金	10億7,277万円	11億8,735万円	△9.7%
予備費	5,000万円	3,000万円	66.7%
歳出合計	291億2,259万円	304億7,625万円	△4.4%

現在、市では新第3次行財政改革実施計画に基づいて、組織機構の見直しや定員の抑制、経費全般の節減合理化と予算の厳正な執行、補助金・負担金の整理合理化を図りながら、事務事業の見直しを行っています。合併の効果が目に見えて現れてくるまでには、まだ数年かかるかと考えられます。大館・比内・田代のそれぞれが一体化することによって、より一層、行財政改革が進み、市民の皆さんにも合併効果を実感していただけたらと思います。